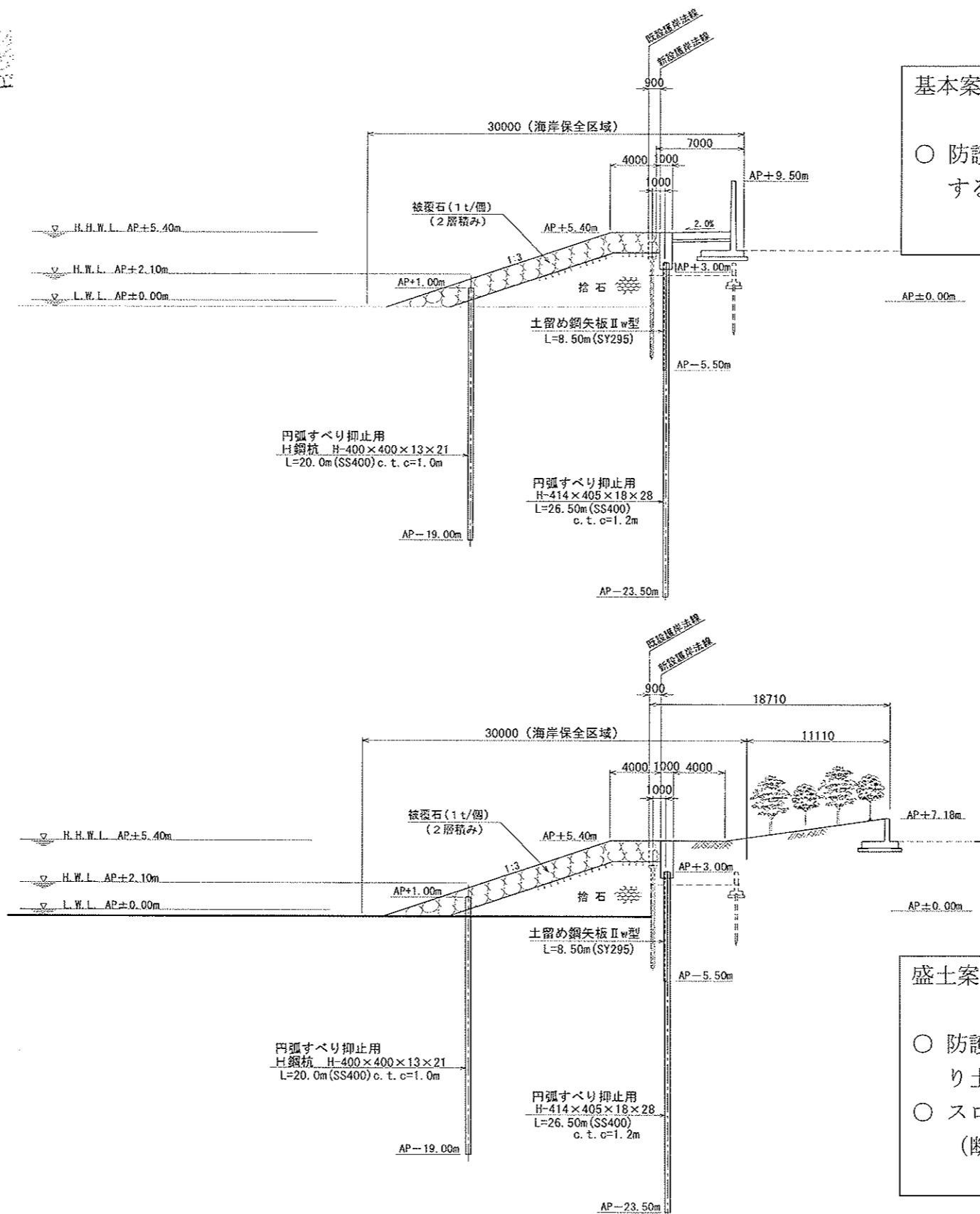
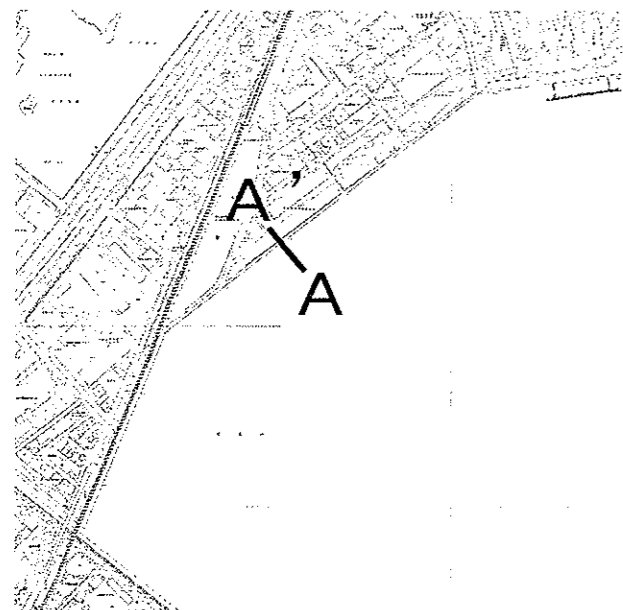


塩浜 2 丁目での胸壁計画 = A-A' 断面 =



基本案

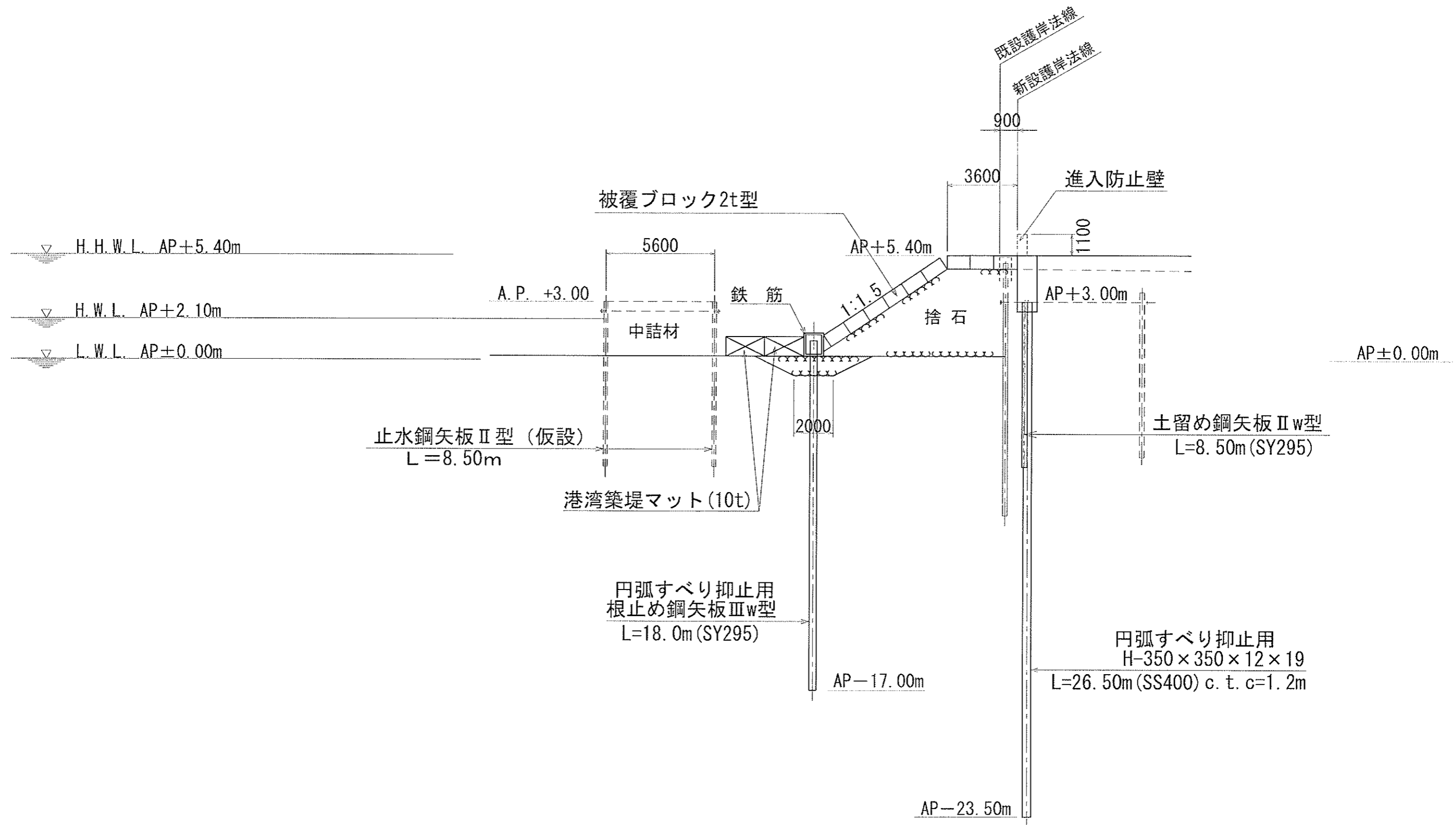
○ 防護ラインとなる A.P.+9.5m の高さの胸壁を設置して防護する。

盛土案 (まちづくりに配慮した断面計画案)

○ 防護ラインとなる A.P.+7.18m の高さまでスロープ状の盛り土を形成して防護する。

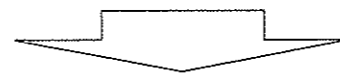
○ スロープ状の盛り土部分は、公園的な整備とする。
(断面図は植栽としている)

被覆ブロック式護岸 (1:1.5勾配) S=1:200



護岸構造の比較の集約 (3丁目)

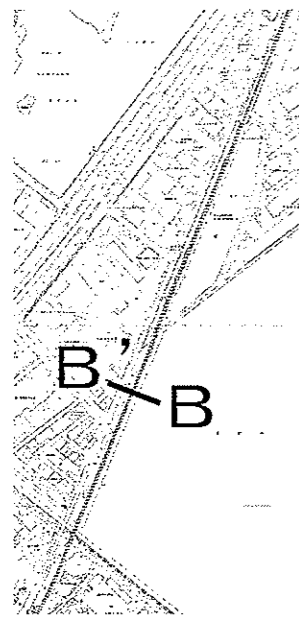
構 造	評 価							総合評価
	① 透水性	② 生物への 寄与	③ 親水性	④ 液状化等 への対策	⑤ 施工性	⑥ 背後地へ の影響	概算工費 (3丁目) 億円	
①自立鋼管矢板	×	×	×	△	×	○	*	4
②自立式連続地中壁	×	×	×	△	×	○	83.9	4
③石積(H鋼杭)+鋼矢板	○	○	○	△	○	○	15.4	1
④石積(鋼矢板)+鋼矢板	○	△	○	△	○	○	14.7	2
⑤石積+連続地中壁	×	○	○	△	×	○	38.2	3
⑥控え杭式鋼矢板	○	○	○	△	○	×	*	4
⑦二重鋼矢板	○	○	○	△	○	×	*	4
⑧深層混合処理工法	×	△	○	○	×	○	42.0	3
⑨サトコンクリション工法	×	△	○	○	×	○	71.9	4
⑩Tロック張(鋼矢板)+鋼矢板	○	△	×	△	×	○	24.0	4



③石積+鋼矢板 (円弧スベリ抑止:H鋼杭) が妥当と考えられる。

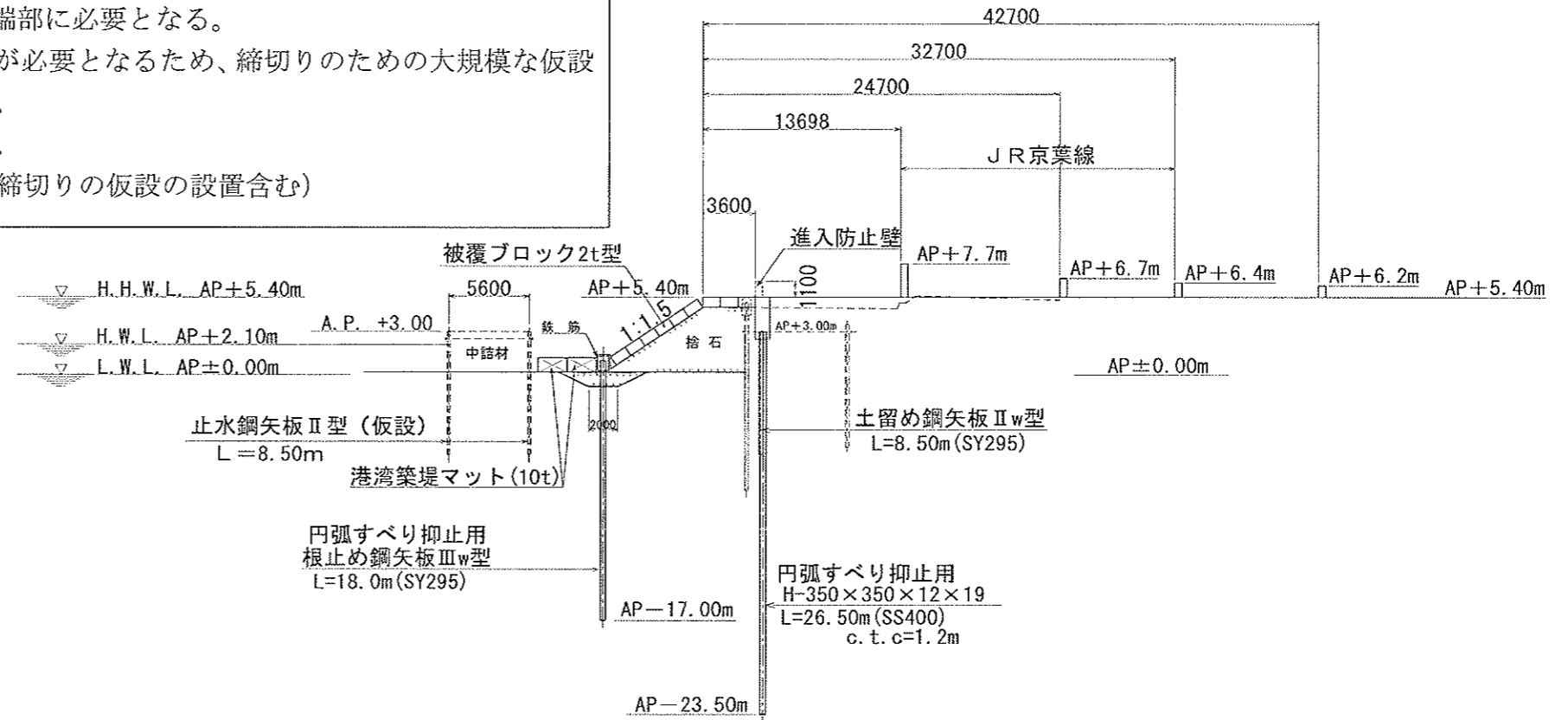
塩浜3丁目の胸壁計画（防護ライン計画）参考図

= B-B' 断面 =



護岸の勾配 1.5 割の場合

- 表のり勾配が 1.5 割の場合は 2t 型のコンクリートブロック（縦×横×高さ＝1.2m×1.2m×0.7m）による被覆が必要となる。
- コンクリートブロックの安定性を確保するための根固め工（港湾築堤マット 10t：縦×横×高さ＝2.0m×3.0m×1.0m）が先端部に必要となる。
- 施工の際は水に接しないようすることが必要となるため、締切りのための大規模な仮設が必要となり工事全体も大規模になる。
- 施工が難しく、メンテナンス費が高む。
- 概算工費＝250 万円/m（直接工事費：締切りの仮設の設置含む）



護岸の勾配 3 割の場合

- 表のり勾配が 3 割の場合は 1t の自然石による被覆が必要となる。
- 概算工費＝160 万円/m（直接工事費：締切り不要）

